弘前大学地域創生本部ボランティアセンター
NEWSLETTER
VOL. 19
MAY,2025

TOPICS

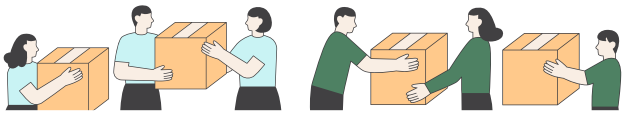
活動報告会 | 市民ボランティア講座① | 市民ボランティア講座② | 弘前大学総合文化祭 大学体験ツアー | 除雪ボランティア | 学生 インタビュー

EVENT01 令和６年度ボランティアセンター活動報告会を開催

令和7年1月23日（木）、当センターの令和6年度活動報告会を弘前大学大学会館3階大集会室およびオンラインのハイブリッド形式で開催しました。

本報告会は、近年頻発している自然災害に対する支援活動について考えることに加え、当センターの1年の活動を振り返り次年度以降の運営に役立てること、またこれらを通して弘前市民のボランティア活動への理解を深め活動参加を推進していくことを目的として開催し、オンライン参加者10名を含む約25名の参加がありました。

前半は、福知山公立大学地域経営学部准教授 大門大朗 氏から、令和6年1月に発生した能登半島地震での発災後からの課題の変化や現在の被災地支援活動についてご講演をいただきました。ご講演の中で、被災地でのこれからの課題として新たな住居確保への不安や長期的な支援者の必要性などが挙げられ、長期的な支援については、弘前大学と弘前市が一体となって支援を始めた、東日本大震災の被災地である岩手県野田村での活動モデルを参考として、福知山公立大学が主体となって支援活動を行っていることについてご説明がありました。



後半は、当センターの学生ボランティアである教育学研究科2年 藤田桃さん、理工学部3年 羽原拓哉さん、人文社会科学部1年 清水遥仁さんから今年度の活動報告があり、野田村支援交流活動や学習支援事業について学生自身が感じたことなどが述べられた後、李センター長と大門氏、学生3名で意見交換が行われ、災害支援ボランティアのモチベーションや、ボランティア活動の今後の展望などについて様々な意見が出されました。最後に当センターのボランティアポイント制度でポイントを一定数獲得した学生の表彰が行われ、本報告会は終了しました。

EVENT02 令和６年度第１回市民ボランティア講座を開催

一般社団法人みらいねっと弘前と共に令和6年10月9日（水）、今年度１回目となる市民ボランティア講座『子ども食堂から「こどもまんなか」社会を考える』を弘前大学人文社会科学部4階多目的ホールで開催しました。

本講座は、地域内のすべての小学校区に子どもの居場所を作るための支援活動等について伺い、子どもを中心に地域社会がつながるとは何か、そして私たちに何ができるのかを考えることを目的として開催され、子ども食堂の運営者や行政関係者、高校生、大学生など、計29名が参加しました。

前半では、『子ども食堂から「こどもまんなか」社会を考える』をテーマに、NPO法人Matsudo子どもの未来へwith us 代表理事　髙橋亮 氏が基調講演を行いました。髙橋氏は講演の中で、こがねはら子ども食堂の設立から、学習支援、フードトラック、体験プログラム、10代の居場所事業など、様々な支援活動へと広がっていった経緯とその意義について述べました。

後半は、講師の高橋氏、NPO法人Matsudo子どもの未来へwith us理事の有馬房江　氏、コーディネーターの李永俊 地域創生本部ボランティアセンター長（人文社会科学部 教授）が参加し、会場からの質問に答える座談会を行いました。

参加者からは、子ども食堂や学習支援を継続するモチベーションなど、様々な質問が寄せられました。講師陣は、子どもたちとの関わりの中で得たやりがいや、活動の意義について熱く語るなど、参加者全員が子どもの居場所づくりへの意識を新たにしました。

EVENT03 令和６年度第２回市民ボランティア講座を開催

令和6年11月24日（日）に弘前大学 大学会館3階大集会室において、今年度2回目の市民ボランティア講座「避難所運営訓練in弘前大学」を一般社団法人男女共同参画地域みらいねっと及びGECM_netと共催で実施しました。

本講座は、「『誰一人取り残さない地域防災』未来の担い手育成」をテーマに、参加者が避難者及び運営者として訓練を体験し、男女共同参画の視点を取り入れた避難所運営のために必要なことを学ぶプログラムとして実施しました。当日は学生9名、市民16名、その他ボランティアスタッフ等を含む計38名が参加しました。

プログラムは3部構成となっており、第1部のオリエンテーションでは、一般社団法人男女共同参画地域みらいねっと代表理事　小山内世喜子 氏による講話がありました。小山内氏は、災害関連死とジェンダーの課題の関連性について説明した上で、男女共同参画の視点から避難所を運営することの大切さについて述べました。

第2部の班別訓練では、外国人や視覚障がい者等、様々な避難者を想定した受入訓練の後、「総務・情報班」「施設管理班」「乳幼児世帯班」「要配慮者班（足等が悪い高齢者）」に分かれ、実際に避難所づくりに使われるテントや段ボールベッド等の組み立て、避難所運営のためのスペースづくりを体験しました。

第3部の全体訓練では、各班で設営時に工夫した点を共有し、設営された各スペースの見学を行いました。参加者は、要支援者に合わせ工夫されたスペースや各種物資、避難所全体の様子等を熱心に観察していました。

最後に、本講座を通して気づいたことや感じたこと・学びをどう活かすかについて、参加者間で共有しました。参加者からは、「情報と配慮が心を救う」「コミュニケーションを取りながら運営することが大事」「学んだことを家族や周囲の人に共有したい」等、熱意のこもった感想が聞かれました。

EVENT04 弘前大学総合文化祭で「大学探検ツアー」を開催

令和6年10月19日（土）・20日（日）に開催された第23回弘前大学総合文化祭において、小学生を対象とした「大学探検ツアー」を両日の計4回実施し、計39名の小学生が参加しました。

大学生ボランティア数名の引率のもと大道芸サークルMochaさんによるバルーンアート実演に始まり、書道部のオープニングパフォーマンス作品の見学、グローバルカフェ（国際連携本部）での入国審査体験、フィールドサイエンス研究会での生きものとの触れあい、理工学部でのフーコー振り子などさまざまなブースを見学・体験した後、最後は当センターでパフェとドリンクが振る舞われ、1時間ほどの探検ツアーは終了いたしました。

子どもたちはとても楽しそうに学内を探検し、さらに大学の研究や各種活動に興味を持った様子でした。

併せて、当センターでは「野田村カフェ」を実施し、震災直後から継続的な支援を行っている岩手県野田村の「のだ塩」や「山葡萄ピューレ」を使ったパフェなどを提供したほか、ポスター展示による当センターの活動報告も行いました。

EVENT05 令和６年度除雪ボランティアを実施

当センターでは、弘前市内各町会等からの要望を受け、平成24年度から除雪ボランティアを実施しています。

今年度は令和7年1月26日（日）・2月2日（日）の計2日、のべ20名の本学学生と6名の教員が参加し、弘前大学近隣地域の歩道や通学路等の除雪を行いました。

弘前市では観測史上最大の積雪量を観測するなど例年にない大雪となり、除雪実施箇所においても、雪が積み重なっており歩行が困難な状況でしたが、参加者それぞれが熱心に活動に取り組み、終了時には積み重なっていた雪をほぼ排雪し歩道を確保することができました。

ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

INTERVIEW 学生事務局インタビュー！

ボランティアセンターには、学生事務局という学生組織があり、当センター主催事業の企画や運営サポートなど幅広く活動を支援してくれています。
今回は、学生事務局に現在所属している学生3名へインタビューしてみました！

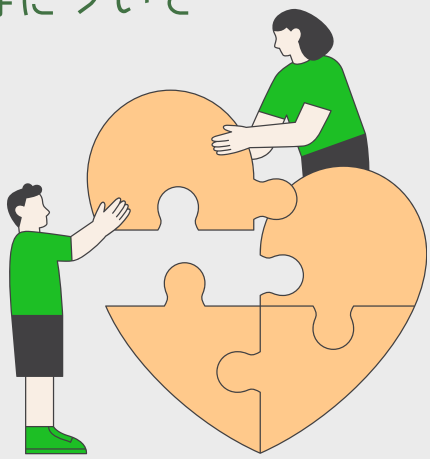
Q. 今年度で一番心に残っている活動は何ですか？
A. 文化祭での大学探検ツアーの企画・運営です。この企画では、学生事務局も計画に携わりました。当日、参加した子どもたちから「楽しかった」「面白かった」と反応をもらえたことが、とても嬉しく達成感を覚えました。（人文社会科学部1年清水遥仁さん）

Q. ボランティア活動の魅力について教えてください。
A. わずかながら誰かの力になれるのはもちろん、ボランティア先の方や関係者の方、学生ボランティア同士での交流の機会が多くあり、コミュニケーション力を高める事ができるのは自分にとって大きな魅力です。（理工学部3年羽原拓哉さん）

Q. ボランティア活動をこれからしてみたいと思っている学生に一言お願いします。
A. ボランティア活動を始めるのはなかなか踏み出しにくいことだと思います。でも、やってみると周りのメンバーも優しくフレンドリーな人ばかりなので最初の一歩を頑張ってボランティアセンターに来てくれると嬉しいです！！（理工学部4年谷本茜理さん）

学生事務局の活動に興味を持った学生がおりましたら、ぜひボランティアセンターまでお問い合わせください！

NOTICE ボランティアへの参加、募集等について



・ボランティア参加希望の方

弘前市民の方 ・・・ ひろさきボランティアセンター
TEL ： 0172-38-5595
弘前大学関係者 ・・ 弘前大学地域創生本部ボランティアセンター
E-mail ： huvc@hirosaki-u.ac.jp

・学生ボランティアの募集の周知依頼、派遣依頼

学生ボランティアを募集したい団体からの周知、派遣要請を受け付けております。詳しくはボランティアセンターのホームページをご覧いただくか、センターへ直接お電話等でご相談ください。

（※各種申請書類提出後、団体登録の可否、ボランティア要請の審議をさせていただきます。
審査等に期間を要しますので、余裕を持って登録申請等行っていただきますようお願いいたします。）

HP　X　Facebook　Instagram

弘前大学地域創生本部ボランティアセンター　平日午前10時～午後３時
〒036-8560　青森県弘前市文京町１番地　大学会館２階
TEL：0172-39-3268　FAX ： 0172-34-5251　/　E-mail ： huvc@hirosaki-u.ac.jp